

人権・同和教育シリーズ ②37

【問い合わせ先】
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

「中学校に行くのが楽しになりました」

地域人権教育指導員 宮崎 篤

1月16日、今年も泗水地区の小学校3校の6年生が集まり、合同学習会が開かれました。いじめや差別をなくしていくが、まになつてから入学することが目的で、入学前の不安や心配を共有しながら、さまざまな人権課題を学び合う大切な機会です。

今年は特に、「悪口でつながる輪」が大きな話題になりました。子どもたちは、真剣に、そして和やかに話し合っていました。感想を紹介します。

.....

私が学んだことは、(人の悪口で人とつながる)「輪」のことです。悪口や本当の自分ではないつながりは、やっぱりいけないと思いました。そんなことをしても誰も良い気持ちにならないし、安心できないということが分かりました。そして本音で話し合うことがそれをなくすことだと分かりました。

入学に向けて、差別をさせない・しないために今日学んだことをしっかり意識していきたい

です。安心して中学校生活を送れそうな気持ちになりました。

.....

安心できないグループと本当のクラスの違いがよく分かりました。人に合わせて自分のことが全然出せずに自分を出したら、いじめられるかと思ったらしいのがグループで、しっかりと遠慮せずに自分を出し合っただけなのに、不安がなくなりました。

.....

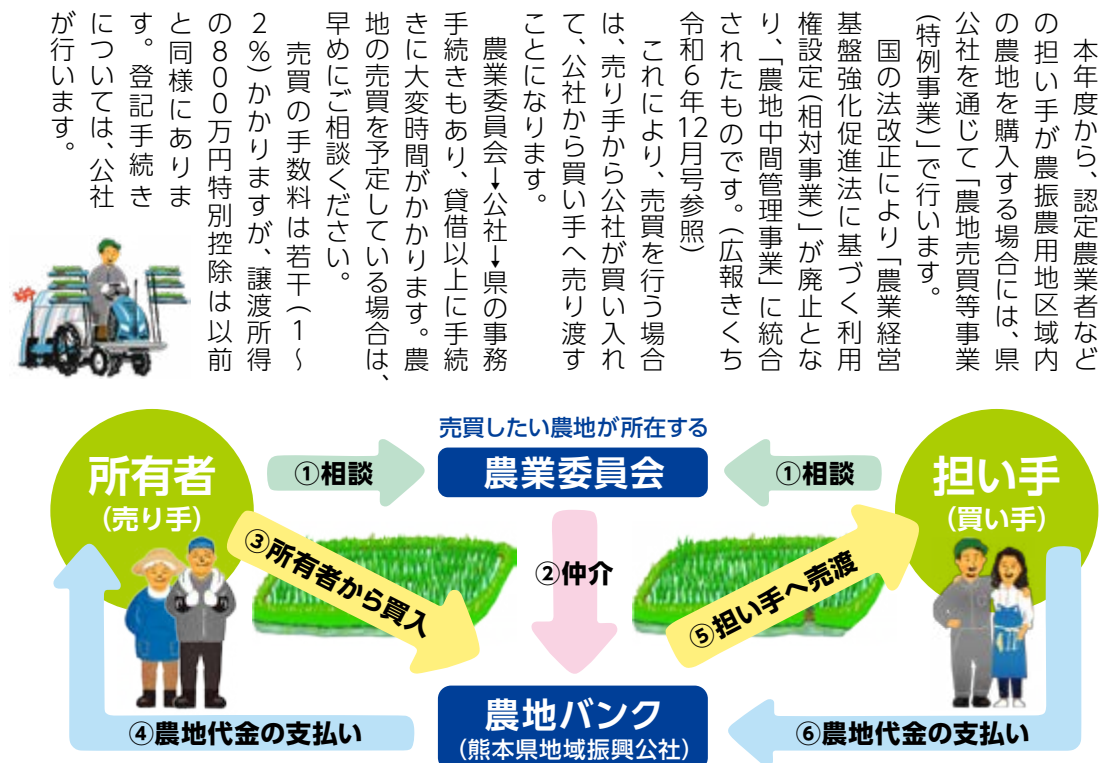
私は友達とけんかしてしまっただけで、別の友達にその子のこととを悪く言ってしまった。今日の話を聞いて、私は「悪口でつながっている輪」に入っていたんだと後悔しました。私は自分が悪口を言われたときの嫌な気持ちを友達にぶつけてしまっていました。これから「輪」に入らないように気を付けようと思いました。

農業委員会だより

【問い合わせ先】
農業委員会
☎0968(25)7235

県公社による農地売買等事業(特例事業)について

農地売買等事業の流れ



守り継がれる

無形民俗文化財 ⑫

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

◆川祭り

市内では夏の行事として、水難防止や水が豊富であることを祈願するために、川祭りが行われています。

期日は土用入りの日、土用三日など、地域によって異なりますが、多くの場合、水神さんへのお供えとして、竹にキュウリ、ナス、ソーメン、御幣などを吊るしたものを川縁や川の中に飾ります。

供えた帰りには振り向いてはならないという言い伝えのあるところもあります(泗水町富納、旭志尾足など)。一説には、河川が荒れるのは川太郎(河童)が原因であるため、好物である



住吉の川祭り(1975年)



高江出分の川祭り(1995年)



川祭りのお供え物(泗水町住吉)

私も中学校に入学して、学校の時の失敗が原因で、なかま外れにならないかなと思っていただけで、班の人や発表している人の意見を聞いて「この人たちがいじめや差別のない平和な学校をめざしているんだな」という気持ちになり、不安がなくなりました。

これらの感想から伝わってくるのは、子どもたちが「人とつながること」の意味を、表面的な関係だけでなく、本音で語り合える信頼関係として捉え直していることです。

特定の人の悪口を言うことで「なかま」と感じてしまう構造は、実は誰にとっても安心できない関係です。それに気付いた子どもたちは、その先にある孤独や恐怖を感じていたのかもしれない。

互いを認め合い、違いを受け入れながら「本当のクラス」を創っていくこととする意志が、今年も育ちつつあります。

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

令和6年2月21日に国史跡に指定された「菊池氏遺跡」にまつわる、ちよつとおもしろいお話を隔月で紹介します。

六代隆直と養和の内乱

平安時代の末、強力な軍事力を持つ平家が権力の頂点にありました。12世紀の後半、平家の支配にあらがい、六代隆直が挙兵したといわれます。

治承4(1180)年、都の貴族たちの日記などに、九州で大規模な叛乱(養和の内乱)が起き、その中心人物が隆直だったと記されています。隆直は肥後国内の武士団を率いており、国内の武士団を統率する立場だったことがうかがえます。平家は追討使を派遣しますが、隆直は手ごわく、およそ1年半も戦い続けたとされます。

この頃、貴族の間でも隆直の話題は注目されていたようで、さまざまな風聞が記録されています。都に住む貴族にとって、九州という地で荒々しくたくましい武士たちは、恐れを抱かせた存在だったのかもしれない。

産官学金でまちづくり ②

【問い合わせ先】市長公室政策企画係
☎0968(41)4488

市では、市民サービスの向上や地域活性化を目的に、企業や大学、各種団体などと包括連携協定を締結しています。連携事業による取り組みを隔月で紹介します。

◆肥後銀行

肥後銀行は、7月25日で創立100周年を迎えます。お客さまや地域の皆さまからの温かいご支援、ご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。

菊池市と当行は、令和5年3月にSDGs推進に関する連携協定を締結しました。幅広い分野で相互連携し、地域課題やニーズに迅速かつ適切に対応し、持続可能な地域社会の実現に寄与することが目的です。

協定締結以降、企業向けSDGsセミナーの開催や「みんなのSDGsフェスティバル」でのブース出展など、菊池市のSDGs普及啓発の一助を担っているところです。

昨年の同フェスティバルでは、「きくち未来創造塾」の卒業生と連携し、親子で楽しむSDGs工作教室や紫外線ビーズを使ったプレスレット作りを実施。当行のネットワークを活用し、



④紫外線ビーズを使ったプレスレット作り ⑤きくち未来創造塾の卒業生と親子で楽しむSDGs工作教室